

平成31年（2019）3月 入域観光客数概況

3月の観光客数は、88万4,000人
対前年（H30）同月比 +4万6,600人、+5.6%
～3月の過去最高を更新～

入域状況

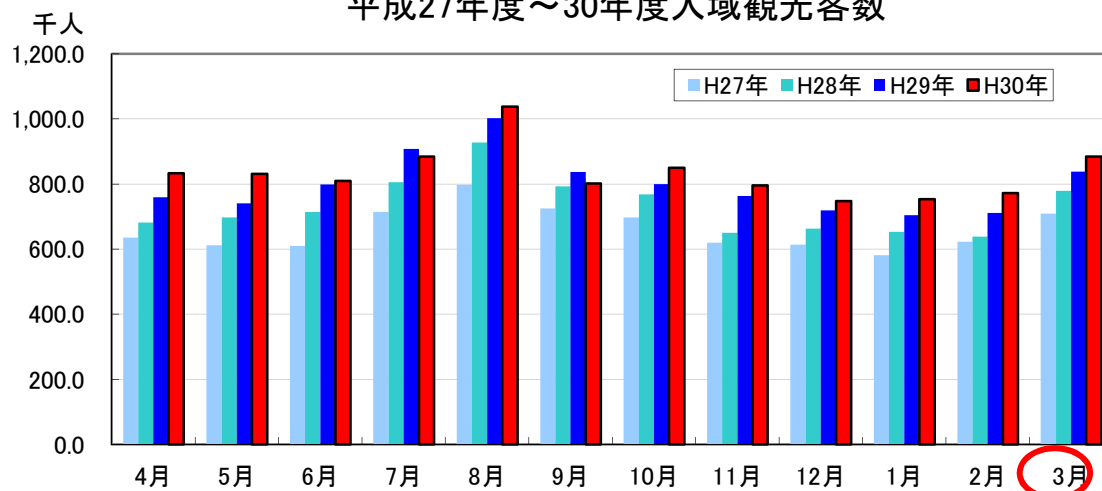
入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を含む

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	657,400 人	627,100 人	+ 30,300人	+ 4.8%	74.4%
外国客	226,600 人	210,300 人	+ 16,300人	+ 7.8%	25.6%
合計	884,000 人	837,400 人	+ 46,600人	+ 5.6%	100.0%

【参考】入域観光客数（平成29年度との比較） ※外国客については、乗務員等を除く

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
国内客	657,400 人	627,100 人	+ 30,300人	+ 4.8%	77.0%
外国客	196,300 人	188,000 人	+ 8,300人	+ 4.4%	23.0%
合計	853,700 人	815,100 人	+ 38,600人	+ 4.7%	100.0%

平成27年度～30年度入域観光客数



国内客 入域状況

3月は、春休みの旅行需要の高まりがあったことや、各航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されることや、沖縄国際映画祭等の大型イベントの開催があること等から、好調に推移する見込み。

外国客 入域状況

3月は、前年同月より航空路線の拡充があったことや、クルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

国内客 地域別入域状況

区分	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
東京方面	311,800 人	298,100 人	+ 13,700人	+ 4.6%	47.4%
関西方面	130,800 人	131,500 人	△ 700人	△ 0.5%	19.9%
福岡方面	84,300 人	79,600 人	+ 4,700人	+ 5.9%	12.8%
名古屋	59,500 人	51,700 人	+ 7,800人	+ 15.1%	9.1%
その他	71,000 人	66,200 人	+ 4,800人	+ 7.3%	10.8%
合計	657,400 人	627,100 人	+ 30,300人	+ 4.8%	100.0%

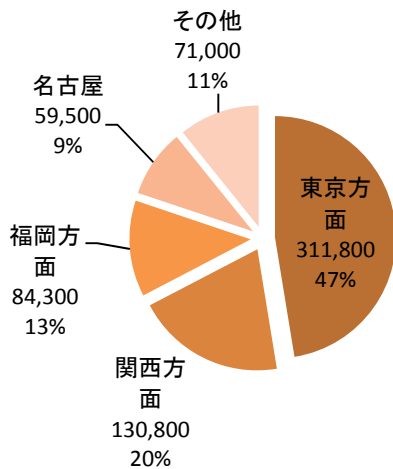
※国内海路客7,800人を含む(鹿児島2,300人、横浜4,600人、博多900人)

外国客 国籍別入域状況

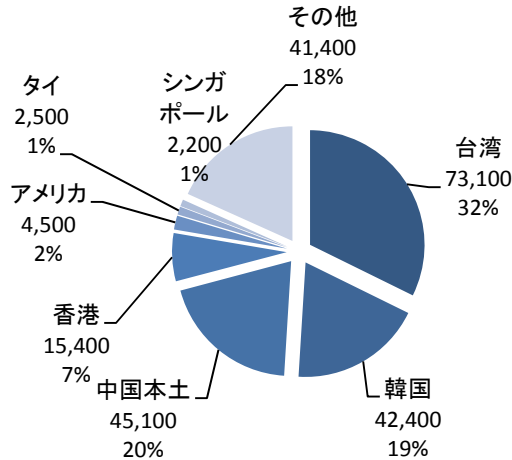
増減数及び増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	H30年度	H30年度	H29年度	増減数	増減率	構成比
	(乗務員等含む)	(乗務員等除く)	(乗務員等含む)			
台湾	73,100 人	73,100 人	55,700 人	+ 17,400人	+31.2%	32.3%
韓国	42,400 人	42,400 人	47,200 人	△ 4,800人	△10.2%	18.7%
中国本土	45,100 人	45,100 人	35,800 人	+ 9,300人	+26.0%	19.9%
香港	15,400 人	15,400 人	18,500 人	△ 3,100人	△16.8%	6.8%
アメリカ	4,500 人	4,500 人	3,700 人	+ 800人	+21.6%	2.0%
タイ	2,500 人	2,500 人	2,600 人	△ 100人	△3.8%	1.1%
シンガポール	2,200 人	2,200 人	1,500 人	+ 700人	+46.7%	1.0%
その他	41,400 人	11,100 人	45,300 人	△ 3,900人	△8.6%	18.3%
合計	226,600 人	196,300 人	210,300 人	+ 16,300人	+7.8%	100.0%

国内客の地域構成比



外国客の国籍構成比



外国客 空路・海路の国籍別入域状況

増減率は、乗務員等を含む数値の比較

区分	空路				海路			
	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比	観光客数 (乗務員等含む)	観光客数 (乗務員等除く)	増減率	構成比
台湾	58,300 人	58,300 人	+22.7%	41.0%	14,800 人	14,800 人	+80.5%	17.5%
韓国	42,400 人	42,400 人	△10.2%	29.8%	0 人	0 人	-	0.0%
中国本土	17,400 人	17,400 人	+3.0%	12.2%	27,700 人	27,700 人	+46.6%	32.8%
香港	13,100 人	13,100 人	△28.8%	9.2%	2,300 人	2,300 人	+2200.0%	2.7%
アメリカ	2,100 人	2,100 人	+5.0%	1.5%	2,400 人	2,400 人	+41.2%	2.8%
タイ	2,400 人	2,400 人	△7.7%	1.7%	100 人	100 人	皆増	0.1%
シンガポール	2,000 人	2,000 人	+33.3%	1.4%	200 人	200 人	皆増	0.2%
その他	4,400 人	4,400 人	△8.3%	3.1%	37,000 人	6,700 人	△8.6%	43.8%
合計	142,100 人	142,100 人	+0.9%	100.0%	84,500 人	54,200 人	+21.8%	100.0%

各方面ごとの概況と見通し

東京

3月は、春休みによる旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

4月は、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加や予約状況が良好なこと等から、好調に推移する見込み。

大阪

3月は、春休みによる旅行需要の高まりがあったものの、航空会社の提供座席数が減少したこと等から、前年を下回った。

4月は、一般団体旅行の受注が良好であることや、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

福岡

3月は、春休みによる旅行需要の高まりがあったことや、航空会社の提供座席数の増加があったこと等から、前年を上回った。

4月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加や、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

名古屋

3月は、春休みによる旅行需要の高まりに加え、航空会社の提供座席数の増加があったことや、先行割引航空券やダイナミックパッケージが良好であったこと等から前年を上回った。

4月は、引き続き航空会社の提供座席数の増加が予定されていることや、ゴールデンウィークによる旅行需要の高まりが期待されること等から、好調に推移する見込み。

台湾

3月は、和平記念日の連休による旅行需要があったことや、前年同月と比べ航空路線が拡充したこと等から前年を上回った。

4月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、堅調に推移する見込み。

韓国

3月は、前年同月より航空路線の拡充があったものの、韓国経済が低迷していることや、韓中関係の改善による中国への渡航需要が回復していること等から、前年を下回った。

4月は、前年同月より航空路線の拡充が予定されていること等から、空路客を中心に堅調に推移する見込み。

中国本土

3月は、個人査証の発給要件緩和による個人旅行の需要の高まりや、前年同月に比べてクルーズ船の寄港回数が増加したこと等から、前年を上回った。

4月は、前年同月よりクルーズ船の寄港回数が減少する予定であるものの、清明節連休による旅行需要の高まりが期待されること等から、堅調に推移する見込み。

香港

3月は、香港発のクルーズ船の寄港回数が増加したものの、広深港高速鉄道と港珠澳大橋が開通したことに伴い、中国へのより安価な旅行が選択可能になったこと等から前年を下回った。

4月は、イースター連休による旅行需要の高まりが期待されることや、香港発のクルーズ船の寄港が増加する予定があること等から、堅調に推移する見込み。